第１号議案 2021 年度（2021.4.1～2022.3.31）事業報告

Ⅰ．2021 年度　事業報告

当財団は青少年の健全育成を目的として 1974 年に設立され、現在は子ども文庫助成事業と電子図書普及事業を行っています。子ども文庫助成は 1975 年より継続して実施している事業で 2021 年度は 100 の団体を助成しました。電子図書普及事業は、２０１０年からマルチメディアＤＡＩＳＹ図書の製作を開始し、当年度は１４５３ヶ所に配布しました。

子ども文庫助成事業

２０２１年度の子ども文庫助成事業は、国内外から合計で 165 件の皆様にご応募いただき、その内、子どもの読書活動を支援するボランティアや特別支援学校、病院施設等非営利団体の皆様へ購入費助成を 66 件、100 冊の図書セットを 31 件、功労賞３件、合計 100 件に助成いたしました。その他の読書支援として、東南アジアの子どもたちに向けた「シャンティ絵本を届ける運動」３５０冊、及び 15 の小学校に被災地支援として図書を届けました。

１．2021 年度　助成件数・金額

本年度の助成件数・金額は、以下の通り。

（　　）内は海外件数、内数　（単位：百万円）

	予　算		応募件数	実　績	
	助成件数	助成金額		助成件数	助成金額
①　子どもの本購入費助成	45	13.5	80（1）	51（1）	15.3
②　病院読書支援　購入費助成	25	7.5	17（1）	15（0）	4.5
③　子どもの本 100 冊助成	30	4.0	63（8）	31（8）	4.1
④　子ども文庫功労賞	2	0.7	5（0）	3（0）	1.1
⑤　その他読書支援					
シャンティ絵本を送る活動		1.6			0.9
被災地支援	12 校	2.0		15 校	2.2
小　計		29.3	165（10）	100（9）	28.0
（内、指定寄付金に基づく助成）		（6.2）			（0.0）
贈呈式　費用　　※1		7.0			1.5
その他　事業費　※2		11.5			8.8
人件費		17.1			14.3
合　計		64.9			52.7

※1　贈呈式は新型コロナの影響で規模を縮小して都内受領者のみを招待し、オンラインを配信を含めたハイブリッド方式で開催しました。

※2　その他事業費の減少は、昨年と同様、主に新型コロナの影響で全国各地への出張訪問をとりやめ、オンライン面談を実施したことによるものです。

2.　子ども文庫助成事業プログラム概要

①子どもの本購入費助成（現金助成）

・対象

子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会、非営利団体等で、子どもたちへの読書支援活動歴が３年以上ある団体、及び個人。

・内容

児童書、絵本などの書籍や備品購入、及び講習会開催等に１件当たり 30 万円助成。

②病院・施設子ども読書活動費助成（現金助成）

・対象

病院内で療養中の子どもたち、障害児施設、養護施設、その他読書にハンディキャップのある子どもたちに対し読書啓発活動を行う、３年以上の活動歴がある読書ボランティア団体や公立を含む特別支援学校等の施設及び非営利団体等。

・内容

子どもたちが読書を楽しむための図書等の購入、及び障害のある子どもたちに対する支援機器等の購入、図書作成のための費用を含み 30 万円助成。

③子どもの本 100 冊助成（図書現物助成）

・対象

子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会、非営利団体等で、既に読書啓発活動を行っている団体。ただし、活動歴は問わない。

・内容

当財団が選書した 100 冊の児童書セット（小学校低・中・高学年、乳幼児の４種類及び 150 冊リスト）のうち１セットを贈呈。

④子ども文庫功労賞

・対象

読書啓発活動に長年（20 年以上）関わられてきた個人で、子どもの読書啓発活動に貢献されてきた方。第三者の推薦による申し込み。

・内容

賞状、副賞（30 万円及び記念品）

⑤その他読書支援

●シャンティの絵本を東南アジアの子どもたちへ届ける活動

・対象

カンボジア、ラオス、アフガニスタン、ミャンマーの子どもたち。

・内容

シャンティ国際ボランティア会が提供する日本語の絵本に現地語の翻訳シールを貼り、東南アジアの子どもたちに本を届ける運動。東日本大震災の被災地の子どもたちや、伊藤忠商事社員が活動に参加し、2021 年度は 350 冊を送りました。

●被災地支援
・内容
全国学校図書館協議会にご協力頂き、東日本大震災で岩手県・宮城県・福島県の10小学校、令和２年７月豪雨災害で福岡県・熊本県の５小学校、合計で15校に図書を寄贈しました。

電子図書普及事業

障害があるために、通常の書籍では読むことが困難な子どもたちの読書機会を提供するため、児童書を電子化し「わいわい文庫」と名づけ、全国の図書館や特別支援学校等へ寄贈しています。あわせて、その啓蒙活動として、障害のある子どもたちの読書支援者をサポートする「読書バリアフリー研究会」の開催や「福祉機器展」等への出展を全国各地で行っています。

1.　電子図書の製作、配布

2020年度に製作した電子図書72作品を２０２１年度に1,453団体に寄贈しました。
また、当年度は66作品を製作し２０２２年度に1,600団体に寄贈する予定。
2015年度から各地の図書館に協力を求め製作している「日本昔話の旅シリーズ」は、累計66作品に増加。その他、日本パラスポーツ協会などのご協力を得て、パンフレット等を電子化しました。
この結果、電子図書の作品数は累計で７３４冊となっております。

配布年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
寄贈作品数	83	91	72	66
寄贈先	1,431	1,475	1,453	1,600（予）

・国立国会図書館からのデータ配信開始
2021年２月から、国立国会図書館の「視覚障害者等用データ送信サービス」へ「わいわい文庫」474 作品を提供し、障害者の方々がネット上でダウンロードして利用できるようになりました。2021年度の「わいわい文庫」利用者数は8,859名の実績となっております。（参考）全マルチメディアDAISY図書利用者数13,479名

2.　定期刊行物の発行

「わいわい文庫」の利用促進と利用者の利便性向上を目指し、「わいわい文庫活用術⑩」、及び、作品をカテゴリー別に分けた「わいわい文庫 Area Map」を作成しました。

3.　電子図書の啓蒙活動

① 読書バリアフリー研究会の開催
各地の公共図書館の協力のもと、文部科学省、公益社団法人全国学校図書館協議会、開催地の教育委員会の後援を得て、障害のある子どもたちへの読書支援に必要な知識や方法を教職員、図書館員、ボランティアの皆様に学んでいただくことを目的に、大学教授などの専門家を招き研究会を開催しています。
2021 年度は、新型コロナの影響を考慮しながら東京のみの開催としました。具

体的には、国立国会図書館国際子ども図書館との共催事業として、初のオンラインセミナーを開催し、674 名の図書館、学校教育関係者等にご参加いただきました。この参加人数は、従来から開催していた対面での研究会と同様の人数なっております。

② 福祉機器展等への出展

下記の通り、教職員、図書館員、福祉等の関係者が集まる会３か所に参加し、「わいわい文庫」の周知を目的に展示を行いました。

ア）文部科学省主催「子どもの読書活動推進フォーラム」
イ）愛知県図書館主催「読書サポート」
ウ）鳥取県教育委員会主催「読書バリアフリーフォーラム」

③他団体主催の講演等への協力

下記の通り、主催団体の依頼を受け、４か所で講演を行い、財団事業の周知を行いました。

ア）SMA 家族の会主催　「わいわい文庫」オンライン勉強会
イ）大阪府立中央図書館主催　「公立図書館と学校との合同研修」
ウ）文字・活字文化推進機構主催　「あなたも読書サポーター！」
エ）杉並区立済美教育センター主催　「学校司書研修」

③ 伊藤忠商事株式会社と協働事業

伊藤忠商事様から支援されたタブレットにわいわい文庫を格納し、滋賀県の図書館 51 館・特別支援学校 21 校・教育センターに計 114 台を寄贈しました。

２０２１年度（2021.4.1～2022.3.31）事業報告書の附属明細書

２０２１年度事業報告書には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書については、事業報告の内容を補捉する重要な事項が存在しないことから作成していない。

2022 年３月 31 日
公益財団法人伊藤忠記念財団